

医療面接入門 Medical Interview

薬：K1-19101MY、生命：K1-19101MS

素養科目 1、2、3年／前期または後期 1単位 選択科目

科目責任者 町田 いづみ(医療コミュニケーション学研究室)

■教育目的

本授業では、将来、臨床薬剤師として医療面接を行なう際に必要な知識・技能・態度の基礎作りを目的とする。臨床薬剤師として効果的な薬物治療を実行するためには、患者との医療面接は必要不可欠である。しかし、臨床で求められる知識や技能、治療者としての態度は、座学だけで習得することは難しい。そこで、本授業では講義に加えて、演習を取り入れ、知識・技能・態度をバランスよく、かつ効果的に学習していく。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、④】

■学習到達目標

- ・薬剤師の役割について理解する(知識、技能、態度)
- ・医療場で求められる「コミュニケーション」について正しく理解する(知識、技能、態度)
- ・安全で最適な薬物治療を提案するために適切な患者情報を収集する(知識、技能、態度)
- ・収集した情報を基に患者の状態を正しく評価することができる(知識、技能、態度)
- ・評価した内容に基に個々の患者に適した薬物療法を提案する(知識、技能、態度)

■準備学習（予習・復習）

復習：講義内で扱ったテーマやSGDの課題について再考察する(30分以上)。

予習：演習の中で扱う疾患や薬物等について予習する(30分以上)。

■授業形態

ディスカッション・ディベート、グループワーク、実習・フィールドワーク、講義

■授業内容

演習：授業は主に演習・実習形式で進める(パンフレットの作成・薬物治療/医療面談演習など)。

SGD：決められたテーマについてグループでディスカッションし、発表する。

| No. | 項目 | 授業内容 | SBOコード |
|-----|-----------------|---|--|
| 1 | 薬剤師のための医療面接の基礎① | 薬剤師の仕事ってなに？ | A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 |
| 2 | 薬剤師のための医療面接の基礎② | 患者-薬剤師間のコミュニケーションってなに？ | A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 |
| 3 | 薬剤師のための医療面接の基礎③ | 相手の全体像を理解する-この人はどんな人？ | A(1)-①-1,2,4 A(1)-②-1,6 A(1)-④-4 A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 |
| 4 | 薬剤師のための薬物治療の基礎 | 薬物治療のプロセスについて学ぶー薬物治療はどうやるの？ | A(1)-①-1～4 A(1)-②-1～6 A(1)-③-1～5 B(4)-①-4 E3(2)-②-3 |
| 5 | 情報収集 | 乾燥性皮膚炎と治療薬等について調べ、治療者としての知識を蓄える。 | E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |
| 6 | 情報収集 | 水虫と治療薬等について調べ、治療者としての知識を蓄える。 | E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |
| 7 | パンフレットの作成の準備 | 症例作成を通して、患者向けパンフレットに記載すべき情報を吟味する。 | E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |
| 8 | パンフレットの作成 | 講義 5-7 で得た知識をもとに、乾燥性皮膚炎、及び、水虫に関する患者向けパンフレットを作成する。 | A3(1)-①-1～9 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |

| No. | 項目 | 授業内容 | SBO コード |
|-------|----------------|--|--|
| 9-10 | 医療面接のプロセスを理解する | 乾燥性皮膚炎と水虫症例をもとに、患者の状況を評価し、治療的介入方法を検討する(SGD)。 | A3(1)-①-1～9 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |
| 11-14 | 医療面接演習 | 乾燥性皮膚炎症例と水虫症例 | A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 E3(2)-①-1 E3(2)-②-3 |
| 15 | DVD「薬剤師物語」の視聴 | 薬剤師物語(DVD)の視聴し、将来の薬剤師像を明確にする。 | A(3)-①-1～9 A(3)-②-1,2 |

■ 授業分担者

前期:町田いづみ(No.1～15)、永井 純子(No.4～15)

後期:町田いづみ(No.1～15)、永井 純子(No.4～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席 52 点、課題 48 点の合計点で評価する。

なお、メ切日時までに提出された課題、及び、teams による演習への参加をもって出席点とする。

■ 教科書

必要な資料は授業ごとに配布する。

■ その他

演習中心の授業となるため、全出席を基本とし、演習への積極的な参加を必要とする。